

なぞり絵

4月～日課の活動になぞり絵が加わります。と言ってもなぞり絵はこれまでの直写と同じ内容になります。

『なぞり絵』は、文字通り絵をなぞる活動です。なぞり絵には、目と手の協応動作(微細運動)を鍛えるプログラムで、目を見た情報を手で出力する力のことです。

複雑な絵を丁寧になぞることで手先の微細感覚が向上します。また、線をはみださないようにゆっくりなぞること、正しい姿勢を保持した状態で活動することで、自己抑制の力も身に付きます。

「文字や形がうまく書けない」「手先が不器用でコンパスなどの道具がうまく使えない」「感情コントロールが苦手」「授業に集中できない」などの困り感が軽減されていきます！

クォーレでは、指導員の声かけや対応によって子供たちが活動しやすい環境を作ることで、より高い療育効果を目指して授業を行っています！

- ・ 広島古市教室 082-877-9001
- ・ 広島五日市教室 082-943-9001
- ・ 広島田方教室 082-507-0390
- ・ 広島彩が丘教室 082-926-3906
- ・ 広島五日市児童発達支援専門教室 082-943-9001



ナデシコ（撫子） 三村 千秋

5月号では「15歳までに始めたい発達障害のライフスキル・トレーニング 梅永雄二著 講談社」で人生で必要な10のスキルを紹介しました。

今回は、小児科医の杉山登志郎氏が監修された「発達障害のある子どもができることを伸ばす！学齢編 日東書院」を紹介します。この本の特徴は「障害か、そうでないか」とらわれるのではなく、うまくできにくいタイプであれば「どうすればうまくいくか」という視点で周囲の支援について分かりやすく書かれています。まず、お子様のタイプに気づくこと、家族等の関わりの基本についても書かれています。

中でも、この本でお伝えしたいのは、お子様が社会で楽しく生きていくためには、自分は大切な存在だと感じる「自己肯定感」をしっかりと育てましょう！ということです。子育てで叱ったり・怒ったりが多すぎると、子どもは自分という存在に肯定的なイメージをもてなくなります。そうならないために、できているところや努力しているところにしっかり目を向けることです。ほめ上手になるには、園・学校や支援者と上手に繋がってください。クォーレの先生方は、「今、できているところ、努力しているところ」をたくさん把握されています。

是非、聞いてみてください。

お知らせ

クォーレプレミオが設立され新体制となりました。
教室はHPをご覧ください。

クォーレのことをさらに詳しく、
ブログ随時更新中！

クォーレ ブログ

検索

